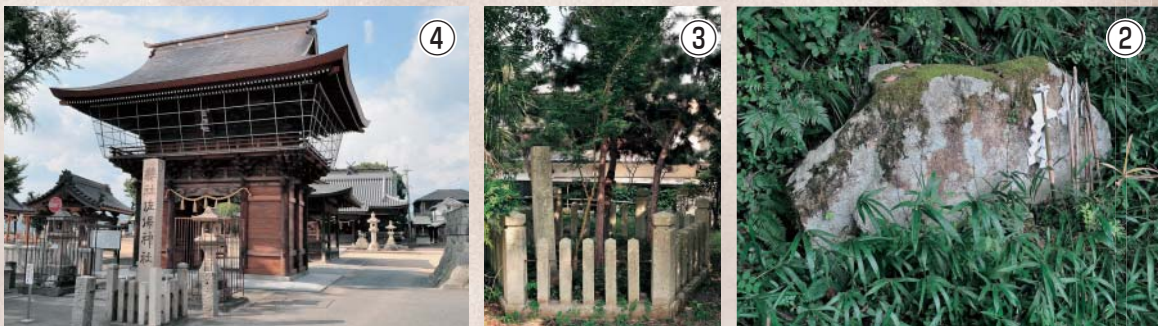


源平争乱 源頼政と義経伝説



【写真】①国宝・朝光寺本堂。毎年5月5日(山氏神社) ④北播磨第一の大社・佐保神社。戦として知られます。⑥長明寺の又工退の郷。レストランや宿泊室、コテージ

には鬼追踊が奉納されます。②弁慶の怪力を示す力石 ③義経が戦勝を願って自ら植えたといわれる松(山氏神社) ④北播磨第一の大社・佐保神社。戦として知られます。⑥長明寺の又工退の郷。レストランや宿泊室、コテージ、テニスコート、川床、グラウンドゴルフ場など、充実した設備を誇ります。



後白河法皇の院宣を受け、平家追討のため、京都から丹波道を駆け抜けた源義経。その道筋となった加東市には、さまざまな義経伝説が残っています。

源平争乱の幕を開けた源頼政と、幕を閉じた源義経にスポットを当て、これらゆかりの地をボランティアガイドと訪ねる源平合戦バスツアー第2弾「源平争乱」源頼政と義経伝説」を、11月22日に実施します。

平清盛の独裁体制の中で皇位継承の望みを断たれ、平家への恨みを募らせた以仁王(もちひとおう)が、源頼政の勧めで平家追討令を出し、源平争乱のきっかけとなったのが「以仁王の乱」。ツアーはこの首謀者で、謀反が察知されて宇治の平等院で自害した源頼政の墓碑と又工退治伝説

自らが植えたといわれるお手植えの松がある「山氏神社」、義経の命を受けた火付け隊が三草山から権現山までを焼き払った際に焼失し、その後、現在地に移された「朝光寺」を巡ります。

なお、やしろ鴨川の郷では、

続いて訪れる加東市では、源義経が平家軍を夜襲した三草合戦の「平家本陣跡モニュメント」と、弁慶が薙刀で突いたという直径10センチほどの凹みがある「弁慶の力石」を、車窓からご覧いただけます。

また、義経軍が三草合戦に勝利し、一の谷へ向かうにあたって、軍勢を立て直すために立ち寄ったといわれる「佐保神社」、義経が一泊した際に、

源平争乱の全体像の解説の後、昼食に、地元秋の食材を使ったツアー特別メニュー「加東の源平御膳(秋の彩り)」を味わっていただきます。

参加者へのお土産など、魅力満載のこのツアーに、ぜひご参加ください。

私たちがご案内します!

加東市観光ボランティアの会



加東市観光ボランティアの会 副会長 藤原峰夫さん

加東市観光ボランティアの会は、平成23年1月に発足し、歴史勉強会や市内観光地での現地練習を重ねてきました。平成23年度には、約260人の方々へのガイドを実施しました。

今年度は、朝光寺の屋根葺き替え工事が完了し、市内観光地のガイド要請が増加しています。みなさまのご期待に応えるべく、精一杯ガイドを務めさせていただきます。お楽しみに!

加東の源平御膳 (秋の彩り)



料理人が工夫を凝らし、加東市の食材を中心に、源平争乱にふさわしいメニューを開発しました。

上鴨五景には「落鮎三草茶煮」、御所谷家喜(焼き)には「黒田庄牛味噌漬炙り焼」、陣屋鍋には「三草茶うどんと鴨肉」、温鉢には「馬瀬・山口の小町かぶら六方蒸」などの創作料理が並びます。ぜひ、ご賞味ください。(食材調達の都合により、メニューを変更する場合がありますので、ご了承ください)

11月22日(木)開催 源平合戦バスツアー申込要領

【行程】

集合場所各地(下記)→長明寺→やしろ鴨川の郷(源平争乱の解説、昼食)→平家本陣跡モニュメント、弁慶の力石(車窓見学)→社市街地(佐保神社、山氏神社)→朝光寺→解散場所各地(下記)

【集合・解散場所と予定時刻】

- 道の駅とうじょう 9:00出発 15:30解散 ※参加者には、詳細なコース時刻表をお渡しします。
- 加東市役所社庁舎前 9:20出発 15:50解散
- 滝野にぎわいプラザ 9:40出発 16:10解散

【定員】35人(先着順)

【参加費】2,000円(昼食代実費)

【申込方法】下表の内容を電話でお知らせください。(FAX不可)

【申込期限】10月19日(金)(先着順のため早期に締め切ることがあります。ご了承ください)

【主催】加東市観光協会、西脇市観光協会

【その他】このツアーは、(公社)ひょうごツーリズム協会「観光地ブランド向上推進事業」の助成を受けて実施します。

【申し込み・問い合わせ】加東市観光協会(東条庁舎地域振興課内)

☎47-1304

※代表者は、加東市内在住の方とします。

代表者氏名		参加人数	人
住所	〒 -		
電話番号		集合場所	
携帯電話番号			